

八甲田山

連休の "山スキー-湯治"

5/1~5

5/1 すいれん沼→猿倉岳→猿倉温泉
 ガスでいるすいれん沼11:10出発。進路は南
 後線に出たので東に進み、地図で、これ
 以上高い山はない山頂を確認、12:35。
 山頂からツレ下方で休み、視界がゼロに
 近くなつたので13:00滑降開始。北を指
 指し、ガスが切れたので指標を見つて
 13:45温泉に滑り込んだ。ザラメ雪。

5/2 すいれん沼→高田大岳→猿倉橋
 小雨とガス6:25出発。コルを目指し、
 西からまわり込みコル着7:50。小休し
 8:00出発。急斜面の樹林が密になり
 板がつかぬ。夏道さかしのツマ手回どり。
 西の中9:18山頂にとび出した。祠の裏
 東の山頂から9:35夏道通しに下山。
 10分足らずで夏道が消え、左(東)にやぶ
 をこいで雪渓をみつけ、胸をなでおろす。
 もっと上部で左に移動すればよかつたが
 ガスで見通し悪いか、左に寄りないうちに
 滑り出す。天気は斜度、広さ、雪質、そして
 小快適だ。目標としに974.4mらしき丘を、
 ガスの中に見出し、一會兒、北面のすくから
 南西に滑ると、車の音が聞こえてきてピタリ橋
 のたもとに10:45到着。
 すぶめられたつたが、ルートファインディングもまた、
 無事戻ったことうれしで充実していた。
 2日同共、L高野、お沢、田中記

5/3 すいれん沼→赤倉岳→八甲田温泉
 出発時刻、ガスがひどく前進するうち雨になった。
 仙人谷ヒュッテリ大岳・井嶺の東面山腹を行く
 ため、ガスで方向がわからなくなった。ヤブをこ
 えておし前進したところで引返し、その後井嶺と思
 える方向におし登ると尾根に出た。北々西の進路
 取り、おし行くと赤倉岳の導標があった。赤倉に
 写真と撮らしてから、夏道を下り、15Z/m
 でスキー合点(ロープウェイから来た様子)。こ
 から雪面が出て来たのでスキーで降るが、合
 点の上危険をさけるため、もうおし歩いて降る。
 そこから大滑走が始まる。導標も出て来て向
 題がた。休みを入れたあたりで天候も良
 なり進向方向の山と海が見えた。おし降る
 と地元の人と思える二人に合った。我々を見て
 ハフ江でむかえてくれた。もうおし降る
 ところで山スキー者2名(先輩)に合った。呼び
 止められ、来たコースを案内されたので、すいれん沼
 から来た事を話すと驚いた様子だった。その後
 立木の多い処をこえたら八甲田温泉の入口
 の道に出た。ここで本日帰京の柳沢田中、
 さんとあかれて、温泉へ行った後ベース
 プへまどった。



コースタイム: 起床4:00 出発6:15 → 硫黄
 岳近辺7:05/7:15 → 仙人谷ヒュッテリ7:30/7:40
 → 赤倉岳近辺9:10/9:25 → 赤倉岳9:35/9:55
 → 15Z/m 10:05 → スキー下降点10:20/10:35
 → 休み10:50/11:05 → 八甲田温泉入口11:30

5/4 すいれん沼→小岳→高田大岳→猿倉温泉
 前日テイルアップを作り、おし降りたが夜通し強い
 雨が降り、起床時刻に目を覚ました人がリターン
 圏と昼まで寝ていて良い。...と返事をしている
 様子なので、今日は温泉に行くだけだと思ひ、そ
 めま寝ていたら雨が上りだした。起床の合
 点で、6:00に起床し、7:00に出発となつたため
 前日打合せした硫黄岳の滑走を始めて小岳
 へ向った。天候は前日と同じで前、ガスの中
 で行動した。前日とすいれんコースを覚えて硫黄
 岳に登山した。前に来たコースに入った頃坂井
 さんがコースの案内してくれていたので、それによつて
 仙人谷へ出ると思つたためかたがたかたがた
 ない。おかしなと思つているうら夏道に
 出ておし登ると小岳に着いていた。そこを通
 りぬけて滑走地点まで行った。スキーを付けて
 急斜面を降る事になった。出だしが急なので
 少しとどいた。一回転倒して必死で停止した。
 斜面の傾きにあまり滑走せずに停止出来た。そ
 め後斜面も少し弱割楽しく滑走出来た。登

会 ツアー

リ返し時、小カスも切れ、テント場方面が良く見えた。大岳へは私達がトップをやらせれキックステップで登った。これ以上はスキーを引いている人は登るわけがむずかしいと思える所で、坂井、陶山氏が前に行きヤブをこえて夏道に出た。その後強風の中を、ふるふる登った。山頂をこえて少し行った所でヤブの中の雪が刺で少し休んだ。その後夏道をゆきヤブこぎの後滑走出来る斜面に出た。大岳の斜面も急であったが小岳も急だったので、それほど気にせずカスの中を降った。途中でスキーヤス各においこされた。方向は自分達の目的地、左の方へ行った。その場よりずっと下まで坂井さんは滑って行ったため、その後方向も変わった事もあり猿倉バス停まで坂井さんには合点がなかった。今日も温泉に入り、ベースキャンプへもどった。本日鈴木(由)さん帰京す。

コースタイム: 起床6:00 出発6:50 → 休憩8:50 / 9:00 → 小岳 9:45 → 滑走地点発 10:00 → 登山地点 10:15 / 10:30 → 高田大岳山頂 11:05 / 12:00 → 滑走地点 12:15 / 12:25 → 猿倉温泉バス停 12:55

参加者 高野、田中(道)、針谷、柳沢、郡司、藤原、鈴木(由)、古川、陶山、伊藤(久)、角田、坂井

5/5 小岳沼 → ニセ駒 → テント場

今日も出発時から雨。天気予報では朝後晴であるが、山では通用しない事と思える。出発後少し行った頃には、雨具の下までぬれて来た。雨・風の中で一休みし登りつづけた。尾根におもひ、アライも降ってきた。天候回復を望みながら登ったが尾根に出ても回復のききなし。全員ずぶぬれ状態に寒そうだった。自分も、オバーザ袋の下の手袋を数回こぼしていたくらいなので、この地点で下山命令を出した事は、正しかたと思えるが、残念な事に今日も下山と中から天候回復はしどめた。途中でIさんが転倒した事もあり、全員心配して集合。脚を下ぬたかと目を伺ったが、滑走出来る状態だった。たので“完結”と思った。他にFさんが雪庇の下にいるのを見た。滑走終りの地点で見上げると、またスタートしている。多分雪庇から落ちたのだと思える。自分が見た時は立っていたので、すぐ戻ると思っていたが、おくれしてしまった。スキーがはずれたのか？ 何れともあれ全員テント場に集合した。天候は完全に良く、雨の強さ中を長い間バスを乗り、酸ヶ湯に入った。時刻が早いので、本月中に家に帰れるなどの事なので、私もその件に入れてもらい帰京す。(〇坂井、高野、古川、伊藤(由)、角田) 他の方(郡司、陶山、針谷、藤原)さんは夜行寝台で帰るとの事、丸い酸ヶ湯K腰をおろしていた。今回の山行で、別名“山行・湯治会”の意味があった気がする。(石川田) コースタイム: 起床4:00 出発6:05 → 休憩6:55 / 7:10 → ニセ駒山頂 7:20 / 7:30 → テント場 8:00